

エンジニアパーク

Engineer Ring Park

札幌で生まれ育った私は、幼少期から建築物や構造物に興味を持ち、特に橋梁を見ることが好きな少年で、将来はこのようなものを造ってみたいなあと漠然と思っていました。思い返すとそれが土木科へ進学した理由だったかもしれません。

しかし、大学卒業時は就職氷河期であり志望通りにはなりませんでしたが、維持管理や自転車関連の分野を経て、現在は道路設計の業務に従事しています。

主に担当したのは道路概略・予備設計であり、インターチェンジ設計や交差点改良設計なども経験してきました。特に道路概略設計は道路設計の上流であるため、様々な制約条件の中から選定したルートが道路網となることには達成感があります。また、自己の業務対応領域を広げるため、道路詳細設計や事業計画検討の経験を積んでいるところであります。

技術士という資格を知ったのは学生の頃ですが、挑戦を試みたのは道路設計業務に従事してからであり、そのきっかけとしては技術者である以上、科学技術分野の最上位資格を目指すべきと考えたからです。さらに資格取得に向けた勉強は、同時に道路分野における自身の知識の底上げに繋がることにもなります。道路施策を学んでいくうちに点で知っていたことが線で結びつき、道路事業のプロセスがより理解できるようになりました。

資格取得後は、三義務二責務を念頭に置き、日々進化する科学技術の情報を収集して自己研鑽に努めつつ、社会基盤整備に寄与すべく業務に取り組んでいます。また、次世代を担う後進技術者の育成に励み、自身が得た経験知、暗黙知の伝承に注力しています。

高橋 正名 (たかはし まさな)

●建設部門(道路)

勤務先

株式会社北未来技研



→次号は、煤田昌也さん(建設部門)

私は北海道生まれ北海道育ちで、2017年(平成29年)4月に株式会社長大に入社し、札幌支社にて建設事業における環境調査業務に従事しました。その後、2025年(令和7年)4月より北海道立総合研究機構 林業試験場(美唄市)に勤務しております。

株式会社長大では、主に動植物の自然環境調査や保全対策検討に携わり、自然環境保全と建設事業との両立を目指して業務に取り組んできました。自然環境は不確実性が高く、対応が難しい場面も多々ありましたが、AIや3Dデータなどの最新の知見を取り入れて工夫を重ねたり、発注者や工事業者、有識者と連携したりする中で、大きなやりがいを感じることができました。そうしたやりがいを実感できたのは、技術士取得に向けて培ってきた専門性やコンサルタントとしての総合的な能力が大いに役立ったためだと感じています。もちろん、これまで業務を共に進めてくださった前職の上司や先輩、同僚の支えがあってこそそのやりがいでもあったと感じます。

現職では、森林の多面的機能発揮のための研究開発の一環として、生物多様性の評価や管理技術の開発に取り組んでいます。現在は建設コンサルタント業界からは少し離れた立場にありますが、建設コンサルタント業界の方々とは現在も交流させていただいております。北海道の約7割を占める森林は、建設事業や日常生活と切っても切れない関係かと思えます。そのため、林業分野に限らず、建設コンサルタント業界や一般の方々にとっても、少しでもお役に立てる知見を蓄積・発信し、社会に貢献していきたいと思えます。

玉田 祐介 (たまだ ゆうすけ)

●建設部門(建設環境)

勤務先

北海道立総合研究機構
林業試験場

→次号は、栗原絢子さん(建設部門)